

<http://www.usupi.org/sysad/210.html>

SASL 認証を活用する

はじめに

まず、SASL が何なのかということ、さらっと確認しておきましょう。

SASL とは、「Simple Authentication and Security Layer」の略で、その名の通り、認証やセキュリティに関する処理（暗号化など）を行うための層です。

SASL を使用するアプリケーションなどは、実際に使われる認証方式のことは SASL にまかせてしまうことで、特定の認証方式に縛られなくて済むようになります。

具体的には、postfix や dovecot、svnserve など、様々なひとたちが、SASL を使って認証を行うようになっています。

必要なもの

まず、SASL 認証を試すために、「saslauthd」というデーモンを動かそうと思います。 そのためにはパッケージを入れる必要があります。

Debian 系の貴兄は「sasl2-bin」、RedHat 系の貴兄は...すでに入っている可能性もありますが「cyrus-sasl」というパッケージを、apt や yum 等でインストールしておいてください。

```
# apt-get install sasl2-bin (Debian 系の場合)
# yum install cyrus-sasl (RedHat 系の場合)
```

動作確認

saslauthd が正しく認証するかどうか、testsaslauthd というコマンドで確認したいと思います。 以下のよう
に、「-u」オプションと ID、「-p」オプションとパスワードを指定して実行すると、認証されるかがわか
るという寸法です。

```
# testsaslauthd -u ユーザ名 -p パスワード
```

認証に成功すると、以下のように、ほっとする文言が得られます。

```
0: OK "Success."
```